

衆議院総務委員会ニュース

平成29.4.6 第193回国会第12号

4月6日(木)、第12回の委員会が開かれました。

1 電波法及び電気通信事業法の一部を改正する法律案(内閣提出第27号)

- ・高市総務大臣、あかま総務副大臣、三木財務大臣政務官、宮澤防衛大臣政務官及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
(賛成一自民、民進、公明、維新、社民、長崎幸太郎君(無) 反対一共産)
- ・梅村さえこ君(共産)が討論を行いました。
(参考人)日本放送協会専務理事・技師長 森永公紀君

(質疑者及び主な質疑内容)

小林 史明君(自民)

- ・一般会計に繰り入れられた電波利用料の収支差額について、後年になって遡及して活用した事例があるか、総務省に確認したい。
- ・今後ますます増大するデータを有効に利活用するため、電波をどのように使用するのか、また、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、地域も含めたスタジオのIT化にどのように取り組んでいくのか、大臣の決意を伺いたい。

奥水 恵一君(公明)

- ・平成29年度電波利用料の予算が、どのような考え方のもとで組み上げられたのか、あかま総務副大臣に伺いたい。
- ・5Gの新サービスや製品を生み出すために、電波利用料を活用してどのような取組を進めようとしているのか、大臣に伺いたい。

田村 貴昭君(共産)

- ・左旋による4K・8K実用放送について、電波障害への具体的な対処方法や対処に要する費用が不透明なまま、開始時期を平成30年12月に前倒ししたことは時期尚早だったのではないかと、大臣の見解を伺いたい。
- ・現在市販されている4K対応テレビだけでは実用放送を視聴できず、別途チューナー等が必要になることについて、放送を通じて周知すべきと考えるが、NHKの見解を伺いたい。

梅村 さえこ君(共産)

- ・航空会社に機器の点検を行う能力があったとしても、自

社の航空機に搭載する無線設備に対し厳正なチェックを行えるかは疑わしいと考えるが、総務省の見解を伺いたい。

- ・多くの人命に関わる航空機の無線設備の点検について、国の関与を緩めるべきではないと考えるが、大臣の見解を伺いたい。

奥野 総一郎君(民進)

- ・V-Highマルチメディア放送が普及しないまま昨年終了した原因及び同放送が利用していた周波数帯の今後の利用方針について、大臣に伺いたい。
- ・5Gについて、利用する周波数帯も含めて我が国に有利になるよう規格の国際標準を獲得すべきと考えるが、総務省の見解を伺いたい。

鈴木 克昌君(民進)

- ・ドローン等の無人航空機に関し、今後の使用可能周波数の拡大や最大空中線電力の増力の方針について、総務省の見解を伺いたい。
- ・海難事故の際の救助等に衛星AISは役立つと考えるが、今後の実際の導入に向けての具体的なスケジュール及び導入に伴う航行の安全性を含めたメリットについて、あかま総務副大臣に伺いたい。

武正 公一君(民進)

- ・電波の有効利用に資するため、非公表となっている国防・警察等の電波の利用状況を公表して、電波の見える化を進めていくべきと考えるが、大臣の見解を伺いたい。
- ・電波監理審議会会長の第5世代モバイル推進フォーラム会長の兼任は電波法第99条の3第3項第3号及び4号に

抵触すると考えるが、大臣の見解を伺いたい。

高 井 崇 志君（民進）

- ・米国や英国に比べ、電波の利用状況の公表及び電波の共用が遅れていることを踏まえ、これらについてリーダーシップをとって進めていくべきと考えるが、大臣の見解を伺いたい。
- ・携帯端末のガイドライン適用後も、寡占状態にある携帯電話事業者は増収増益となっていることから、競争を働かせるべきと考えるが、大臣の見解を伺いたい。

足 立 康 史君（維新）

- ・現在の電波の利用状況について、有効に利用がなされていると評価しているか否かについて、総務省の見解を伺いたい。
- ・周波数オークションのデメリットについて、総務省の見解を伺いたい。

吉 川 元君（社民）

- ・放送事業者に比べて携帯電話事業者の電波利用料の負担額が非常に多い理由について、総務省の見解を伺いたい。
- ・移動通信のトラヒックの増加について、携帯電話事業者間でひっ迫度合いに差があるのではないか、また、差がある場合、その解消をどのように行うのか、総務省の見解を伺いたい。